



日身体障害者補助犬学会 第13回学術大会  
The 13th Annual Meeting of the Japanese Society of Service Dog Research

すべての人が暮らしやすい街に“できること”を考える

協賛募集のご案内

主催：一般社団法人 日身体障害者補助犬学会  
<http://www.jssdr.net/index.html>

## ご挨拶

すべての人が暮らしやすい街に“できること”を考える

国民が解りやすい表面的なところばかりに投資している日本に、私は限界を感じはじめています。「障害者」を「障がい者」と表記を変えただけで“配慮した気になっている”のがその象徴的な一つであり、本質が伴っていない事例が散見されます。2018年に省庁及び地方自治体等の公的機関において障害者雇用水増し問題が発覚し国民に衝撃を与えたことも記憶に新しいと思います。2002年に身体障害者補助犬法が施行されても、飲食店だけではなく医療機関でさえ補助犬の同伴拒否があるなど補助犬への理解はまだ進んでいるとは言えません。

このような潜在化してしまった問題を顕在化し解決することで、日本が模範的で素敵な国になる方法はないかと考えてみました。そこでインバウンドで成功した大阪流おもてなし『お節介』にヒントがあるのでは?と気づいたのです。1995年私は研修のためドイツで2年間暮らしていたのですが、アメリカンフットボールの試合で膝の靭帯を損傷しクラッチ杖の生活を余儀なくされました。自宅が旧市街の中にあつたため一步玄関を出ると石畳が敷き詰められており、近くにある店の多くは玄関に階段があり当然ながら自動ドアがありません。ですが、見ず知らずの方々を手伝っていただき困ったことは一度もありませんでした。階段や段差の前で手伝ってくれる人を待っているベビーカーの母親もよく見かけました。女性が独りで赤ちゃんをベビーカーに乗せたまま必死に階段を上がっているなんて光景は見たことがありません。

開催予定地であった我が街 大阪府大東市は人口12万人です。何か新しいことをやりはじめようとするには多すぎず少なすぎず丁度いいスケールです。「地域リハビリテーション発祥の地」とも「ノーマライゼーション実践の町」とも呼ばれていますが、それは昭和50年代の初めに障害のある子どもを育てる母親たちが、健常者・障害者に関わらず地域で教育を受けさせたいという願いから、必要なハードやソフトの整備を求めた活動がそもそもの始まりです。地域包括ケアシステムの原点を、永年醸成されてきた大東市の風土から得たものは多く、今大会は、WEB開催ではありますがWEBならではの方法で皆様にお伝えするコンテンツを考えております。

大会テーマである「すべての人が暮らしやすい街に“できること”を考える」には「すべての人が暮らしやすい街」と「すべての人が“できること”を考える」。この2つの意味が込められています。人は身を置くフィールドによって変化していきます。困っている人に気づいたら「お手伝いできることはありませんか?」を気軽に言える社会(フィールド)を目指しましょう。パラリンピックの父、ルートヴィヒ・グットマン博士が傷痍軍人たちに向けた言葉「失ったものを数えるな。残されたものを最大限に生かせ」を2020東京パラリンピック無形のレガシーとして確固たるものにしましょう。そんな未来進行形の想いを込めたテーマです。未知のウイルスに負けない心の免疫力が高まり、未来進行形のワクワクさせてくれるような学術大会を創り上げてまいります。新しい学術大会のカタチを皆さんとともにチャレンジできれば幸いです。



大会 HP:QR コード

日本身体障害者補助犬学会 第13回学術大会  
(<https://www.procomu.jp/jssdr2021/index.html>)

大会長 川村 慶  
(川村義肢株式会社 代表取締役)

# 開催概要

## 1. 開催趣旨

身体障害者補助犬法が2002年5月22日に成立してから19年、未だその認知度は低く同伴拒否はなくなり、補助犬法の認知度はむしろ低くなっていると危惧される傾向も見受けられます。

犬は最も古くからの人間の伴侶動物として生活を共にして来た動物です。補助犬は障がい者にとって心の支えとなり、生きがいともなり、機能的自立を支えるに留まらず、精神的安定やエンパワメントにもつながるところが、道具とも介助者による介助ともまったく異なる大きな効果といえます。

より多くの専門職、そして一般の方々に、補助犬の素晴らしさと、身体障害者補助犬法のことを知っていただくとともに、「障害者差別解消法」と補助犬についても今大会のテーマとして、より積極的に社会全体で考える契機としたい。

## 2. テーマ

「すべての人が暮らしやすい街に“できること”を考える」

## 3. 主催、後援等(申請予定)

主 催: 一般社団法人日本身体障害者補助犬学会

後 援: 厚生労働省、国土交通省、大阪府、大東市、門真市、寝屋川市、四條畷市、東大阪市、守口市、交野市、大阪市

身体障害者補助犬を推進する議員の会、公益社団法人日本獣医師会、一般社団法人日本小動物獣医師会、

公益社団法人日本動物病院協会、公益社団法人日本リハビリテーション医学会、

公益社団法人日本看護協会、公益社団法人日本理学療法士協会、一般社団法人日本作業療法士協会、

公益社団法人日本義肢装具士協会、一般社団法人日本車椅子シーティング協会、

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会、一般社団法人日本義肢協会、一般社団法人義肢装具学会、

大阪府理学療法士会、大阪府作業療法士会、社会福祉法人日本ライトハウス、大阪府獣医師会、

社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団 総合リハビリテーションセンター、

公益財団法人関西盲導犬協会、NPO 法人兵庫介助犬協会、一般社団法人日本理学療法学会連合

協 力: 公益財団法人日本盲導犬協会、公益社団法人日本聴導犬推進協会、社会福祉法人日本介助犬協会

## 4. 開催方式

Web 開催(オンデマンド配信のみ)

## 5. 会期

2021年11月21日(日)～ オンデマンド配信開始

## 6. 会場及び所在地

インターネット日本身体障害者補助犬学会 第13回学術大会オンラインホームページ上

## 7. 学術大会参加対象、人数

学術大会プログラム 300名

補助犬訓練事業者、認定法人、補助犬使用者、医療従事者、福祉関係者、獣医師、行政関係者、教育関係者、その他

## 8. 参加費:

### 学術大会プログラム

会	員:4,000 円
学 生 会	員:2,000 円
一	般:5,000 円
一 般 学 生	:3,000 円

## 9. プログラム委員

大会長	川村 慶	川村義肢株式会社 代表取締役
委員	高柳 友子	一般社団法人 日本身体障害者補助犬学会 理事 社会福祉法人 日本介助犬協会 専務理事(リハビリテーション科医師)
	吉田 文	一般社団法人 日本身体障害者補助犬学会 理事 大阪保健医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻 教授(作業療法士)
	野口 裕美	一般社団法人 日本身体障害者補助犬学会 理事 四條畷学園大学 リハビリテーション学部 作業療法学専攻 教授 (理学療法士、作業療法士)
	三浦 靖史	一般社団法人 日本身体障害者補助犬学会 理事 神戸大学大学院 保健学研究科 リハビリテーション科学領域 准教授
	剣持 悟	川村義肢株式会社
	大屋 正子	パンフィックサプライ株式会社
	大場 サツキ	川村義肢株式会社
	石川 智昭	一般社団法人 日本身体障害者補助犬学会 事務局 株式会社スイッチオンサービス

(順不同)

## 10. プログラム(予定)

【10月20日(水)～11月19日(金)】

- ◆市民向けプログラム:「介助犬のひろば 2021」※スタンプラリー実施予定

【11月19日(金)】

- ◆オプションリモートツアー:企業見学ツアー(川村義肢株式会社(予定))

【11月20日(土)】

- ◆介助犬のひろば 2021 スタンプラリー大抽選会

【11月21日(日)～】

於:インターネット日本身体障害者補助犬学会 第13回学術大会オンラインホームページ上

- ◆開会挨拶

- ◆来賓挨拶(ビデオレター)

- ◆一般演題発表

- ◆総会

- ◆大会長講演

街活かして人活かし ～「フィールドセオリー」私が精魂込めて創っていること～

川村慶

(川村義肢株式会社 代表取締役 / 一般社団法人 日本車椅子シーティング協会 副代表理事)

- ◆基調講演

リハビリテーション医が語る犬の素晴らしさ

道免和久

(兵庫医科大学 リハビリテーション医学講座 教授)

## ◆シンポジウム 1

「身体障害者補助犬の質の確保と受け入れを促進するための研究」報告  
～2019-2020 年度厚生労働行政推進調査事業～

◇身体障害者補助犬を使用する障害者の需要推計方法の検討と試算

清野絵

(国立障害者リハビリテーションセンター研究所 障害福祉研究部 心理実験研究室 室長)

◇補助犬訓練事業と他の身体障害者社会参加支援施設との比較制度研究

小澤温

(筑波大学大学院・人間総合科学学術院 リハビリテーション科学学位プログラム 教授)

◇補助犬の衛生管理:ガイドブックの作成

水越美奈

(日本獣医生命科学大学 獣医学部 教授)

◇補助犬使用者の施設等への受け入れに関する研究:受け入れガイドブックの作成

山本真理子

(帝京科学大学 生命環境学部 アニマルサイエンス学科 講師)

◇補助犬研究班に期待すること

飛松好子

(国立障害者リハビリテーションセンター 元総長・顧問)

## ◆シンポジウム 2

「コロナ禍での私たちの取り組み ～補助犬訓練事業者のホンネと挑戦～」

### 【概要】

日本中、世界中に驚異的なダメージを与え続けている新型コロナウイルス感染。幸い、犬には発症や重症化の報告はないが、補助犬と共に暮らす障害者の生活にも、大きな影響があった。そして、ほぼ全額を寄付から運営し、育成・普及活動をしている補助犬訓練事業者にとって、募金活動が出来ず、イベント・セミナー等での普及活動やグッズ販売が出来ず、社会全体が経済状況の悪化を目前にすることは今後の運営に対する大きな不安となつてのしかかる。

補助犬の育成や障害者への訓練、継続指導については、障害によって基礎疾患が感染の重症化リスクがあること、介助・支援が密になることのリスクに配慮を必要とする。マスクの存在は聴覚障害者にとってコミュニケーションの障害になり、肢体不自由者にとっても視覚障害者にとっても、手指消毒とともに困難な動作が増えることになる。

さまざまな多くの困難を、それぞれに創意工夫をしながら乗り越えてきた 1 年半の苦労とこれからの展望を共有し、皆さんに知って頂き、励まし合い、支え合える情報交換の場とするようなシンポジウムになることを願う。

### 【ご出演者】

公益財団法人 北海道盲導犬協会 指導部 繁殖パピー担当部長 加藤淳一

公益財団法人日本盲導犬協会 専務理事/神奈川訓練センター長 山口義之

公益財団法人 九州盲導犬協会 訓練グループ部長 児島 元

公益社団法人 日本聴導犬推進協会 事務局長・育成事業部 水越 みゆき

社会福祉法人 日本介助犬協会 訓練部長/訓練センター長 水上 言

◆ショートレクチャー

◇「できる」「あきらめなくてもいい」を実現するモノづくり

川村慶(川村義肢株式会社 代表取締役/一般社団法人 日本車椅子シーティング協会 副代表理事)

◇日本一補助犬使用者にやさしい街づくり

剣持 悟(川村義肢株式会社 製造本部 係長(エンジニア))

◇義肢装具の歴史(川村義肢歴史展示室紹介)

剣持 悟(川村義肢株式会社 製造本部 係長(エンジニア))

◇ほんまはどうなん?障がい者の就労と雇用(仮称)

大屋正子(川村義肢株式会社 事業開発本部 地域事業開発課 主任)

◇地域で闘う理学療法士たち

石川智昭

(株式会社スイッチオンサービス/日本理学療法士連盟 中央役員 企画局長/兵庫県理学療法士連盟 会長)

◇自宅でイキイキ☆体も心も軽やかにドッグヨガ!!

野口裕美(四條畷学園大学 リハビリテーション学部 作業療法学専攻 教授(理学療法士、作業療法士))

◇Dog Intervention~AAA/AAT、付添犬など~の取り組み

水上言(社会福祉法人 日本介助犬協会 訓練センター長)

◇身体障害者補助犬で繋がる 理学療法士、作業療法士のネットワークの構築

吉田文

(大阪保健医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻 教授(作業療法士))

※その他多数のコンテンツを配信予定

# 協賛募集要項

## 1. 募集内容

募集口数に応じ、以下 4.(1)～(3)の広告機会を提供します。

2 口以上お申込みの場合は、ロゴマークのサイズアップ、抄録集広告掲載等、広告機会が多くなります。

2 口以上のお申込みをできる限りお願い申し上げます。

## 2. 協賛(ご寄付)料金: 1 口 50,000 円(税込)

## 3. 募集期間

2021 年 8 月 1 日(木)～ 12 月 31 日(金)

## 4. 協賛口数による協賛(寄付)団体・企業様の表示方法・媒体

I.大会ホームページでの社名記載	4 口以上	3 口	2 口	1 口
II.ロゴマーク・バナー広告の掲載	大(340×100px)	中(220×50px)	小(170×50px)	

## 十 (プラス)

III.申込口数の範囲で掲載希望コンテンツをお選びいただけます			
内容	(1)動画掲載	(2)静止画	(3)抄録集広告
		・動画広告 ・音声付きスライド等	・フライヤー ・カタログ等
必要口数	1本につき2口	1件につき1口	掲載場所により1～4口

以下の掲載が可能でございます。

### I.オンライン学術集会HPにてロゴマーク・バナー広告の画面掲載



左:第7回大会協賛スクリーン



右:同11回大会協賛スクリーン

注)イメージのため実際のサイズや掲載形式は異なります。



## Ⅱ.大会ホームページでの社名記載、ロゴマーク・バナー広告の掲載(希望に応じて)



<掲載サイズ・タイミング(予定)>

【4 ロ以上のお申込の場合:大(340×100px)】

- ・1社・1団体で全面に社名・ロゴ掲載。
- ・オンライン学術集会オンデマンドコンテンツ配信**開始時・終了時**にロゴマーク・社名を単独で全面掲載

【3 ロお申込の場合:中(220×50px)】

- ・コンテンツ配信**開始時**にロゴマーク・社名を単独で全面掲載(または動画放映)。

【2 ロまでのお申込の場合:サイズ:小(170×50px)】

- ・コンテンツ配信**終了時**に企業・団体のロゴマーク・社名を**合同で**一枚のスライドに映写。

(上:HPバナー掲載イメージ)

閲覧対象者:本学会会員、演題応募者、参加事前登録者、一般市民

掲載期間:お申込・データ受領後 | 週間~配信終了まで

※掲載開始はお申込後、データをいただき、設定以後の掲載となります。

掲載場所:

◇日本身体障害者補助犬学会 第13回学術大会ホームページ・オンライン学術集会ホームページ

【社名】協賛申込ページ

<https://www.procomu.jp/jssdr2021/kyousan.html>

【ロゴマーク・バナー広告】

・トップページ

<https://www.procomu.jp/jssdr2021/index.html>

申込方法:

下記サイトより必要事項をご記入の上、お申込ください。

<https://procom-i.jp/jssdr2021/sponsor/>

データ入稿方法:

①入稿データ(バナーデータ・リンク先URL)を1つのzipファイルにまとめてください。

②zipファイル名は必ず【正式企業名称(団体名)】にしてください。

③下記URLより【ファイルを選択】もしくは【パソコンから選択】をクリックしてアップロードしてください。

<https://www.dropbox.com/request/rD59ciYeavqCAIyXzLul>

※専用boxのため、運営事務局以外は閲覧やダウンロードはできません。

入稿締切日:2021年10月31日(日)までにご入稿ください。

### Ⅲ. 申込口数に応じ下記(1)～(3)いずれかを掲載可能です。(組み合わせ可)

#### (1) 動画掲載

◇企業PR動画、音声付きスライド等を広告として掲載可能

- 1) データ形式:MP4
- 2) データサイズ:2GB まで
- 3) 動画の長さ:15 秒以内
- 4) 必要追加口数:2 口以上
- 5) コンテンツ掲載場所(予定)
  - ・オンライン学術集会オンデマンドコンテンツ配信開始時または終了時
  - ・オンライン学術集会ホームページ:オンライン企業展示コーナー

※大会当日の配信動画開始前後の動画掲載は、10月31日(日)までのお申込みが対象となります。  
※どのコンテンツで掲載となるかは、大会長の一任となりますのでご了承ください。

#### (2) 静止画掲載

◇企業フライヤー、製品カタログ等を掲載可能

- 1) データ形式:PDF
- 2) データサイズ:10MB まで
- 3) 必要追加口数:1 口以上
- 4) コンテンツ掲載場所(予定)
  - ・オンライン学術集会ホームページ:オンライン企業展示コーナー

※どのコンテンツで掲載となるかは、大会長の一任となりますのでご了承ください。

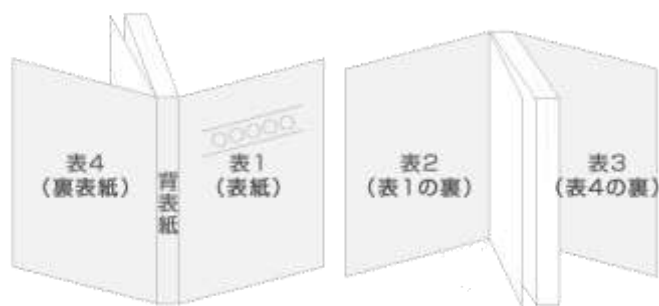
#### (3) 学術大会抄録集(学会誌【日本補助犬科学研究】)への広告掲載

協賛口数に応じ、本大会講演抄録集に、協賛企業・団体として広告掲載をいたします。

- 1) 広告掲載媒体:日本身体障害者補助犬学会第13回学術大会学会誌・抄録集(会期2週間前発行予定)
- 2) 配布対象:日本身体障害者補助犬学会会員・行政・医療・福祉関係者等
- 3) 配布部数(版型):約300部(A4版)
- 4) 発行日:2021年11月21日(日)(予定)
- 5) 発行部数:300冊
- 6) 広告申込締切:2021年9月30日(木)
- 7) 広告掲載ページについて
  - ① 広告A4版抄録集 | ページサイズ(4色・掲載頁は表4) :4口以上(先着1社限定)
  - ② 広告A4版抄録集 | ページサイズ(1色・掲載頁は表2) :2口以上(先着1社限定)
  - ③ 広告A4版抄録集 | ページサイズ(1色・掲載頁は表3) :2口以上(先着1社限定)
  - ④ 広告A4版抄録集 | ページサイズ(1色・掲載頁は後付) :2口以上
  - ⑤ 広告A4版抄録集 | 1/2 ページサイズ(1色・掲載頁は後付) :1口以上

注) 上記①～③に関しましては、お申込多数の場合先着順とさせていただきますのでご了承ください。  
また④⑤の場合、掲載場所に関しましては主催者に一任とさせていただきます。

## ※広告掲載位置イメージ



## <各種協賛申し込み方法及び協賛金振込口座>

### 1. 各種協賛金申し込み方法

下記サイトより必要事項をご記入の上、お申し込みください。

<https://procom-i.jp/jssdr2021sponsor/>

注) 後日、別枠の協賛(例:最初に展示を申し込まれて、後日、広告掲載も申し込む場合等)をお申し込みされる場合は、同様に上記サイトよりお申し込みください。

注) 本会議への参加資格について

御協賛いただきました皆様に対しては本学術大会の講演会場および関連プログラムへの参加資格はありません。参加を希望される場合は別途参加申込を行って下さい。展示会場への出展者の入場制限はありません。

### 【連絡先】

日本身体障害者補助犬学会 第13回学術大会運営事務局  
(株式会社プロコムインターナショナル内)  
〒135-0063 東京都江東区有明三丁目6番地11 TFTビル東館9階  
TEL 03-5520-8822 FAX 03-5520-8820  
電子メール:jssdr13@procom-i.jp

### 2. 協賛金振込口座

- 銀行 名:大阪シティ信用金庫
- 店 番:034
- 預金種目:普通
- 店 名:大東北支店
- 口座番号:8102887
- 口座名義(カナ) :日本身体障害者補助犬学会第13回学術大会 大会長 川村慶  
(ニホンシンタイショウガイシャホジョケンガツカイ ダイジュウサンカイガクジュツタイカイ  
タイカイチョウ カワムラケイ)

## 過去の学術大会

### 第 1 回

大会長:竹前 栄治(東京経済大学 名誉教授)

開催日時:平成 18 年 1 月 29 日(日)

開催場所:国立身体障害者リハビリテーションセンター学院講堂

### 第 2 回

大会長:池本 卯典(日本獣医生命科学大学 学長)

開催日時:平成 19 年 6 月 23 日(土)・24 日(日)

開催場所:日本獣医生命科学大学

### 第 3 回 メインテーマ:「人と犬の絆・補助犬」

大会長:山崎 薫(日本身体障害者補助犬学会 理事・学校法人ヤマザキ学園 理事長・学長)

開催日時:平成 21 年 10 月 17 日(土)・18 日(日)

開催場所:ヤマザキ動物看護短期大学

### 第 4 回 メインテーマ:「より永く、より幸せに ~補助犬に求められる獣医学~」

大会長:鷲巢 月美(日本獣医生命科学大学 獣医学部 臨床病理学教室 准教授)

開催日時:平成 23 年 10 月 29 日(土)・30 日(日)

開催場所:日本獣医生命科学大学

### 第 5 回 メインテーマ:「身体障害者補助犬法:次の 10 年に向けての提言」

大会長:三浦 靖史(神戸大学大学院 保健学研究科 准教授)

開催日時:平成 24 年 10 月 27 日(土)・28 日(日)

開催場所:宝塚ソリオホール

### 第 6 回 メインテーマ:「補助犬のウェルビーイング~健康と福祉を考える~」

大会長:林 一彦(日本大学松戸歯学部 特任教授)

開催日時:平成 25 年 10 月 26 日(土)・27 日(日)

開催場所:日本大学 松戸歯学部校舎棟

### 第 7 回 メインテーマ:「人にも動物にもやさしい社会をめざして ~2020 年に向けて~」

大会長:高柳 友子(医師・社会福祉法人日本介助犬協会 事務局長)

開催日時:平成 26 年 9 月 20 日(土)・21 日(日)

開催場所:中部国際空港セントレア

### 第 8 回 メインテーマ:「補助犬が拓く 楽しい旅、やさしい社会 ~2020 年に向けて~」

大会長:秋田 裕(日本身体障害者補助犬学会 理事長)

開催日時:平成 27 年 10 月 31 日(土)・11 月 1 日(日)

開催場所:羽田空港 国際線旅客ターミナル 4F TIAT SKY ホール

第9回 メインテーマ:「ユニバーサル社会と補助犬 ～障害者差別解消法をふまえて～」

大会長:神沢 信行(甲南女子大学 看護リハビリテーション学部 教授)

開催日時:平成 28 年 10 月 29 日(土)・30 日(日)

開催場所:神戸大学 先端融合研究環統合研究拠点 コンベンションホール

第10回 メインテーマ:「補助犬の福祉を考える ～幸せな使用者を支える幸せな犬たち～」

大会長:山崎 恵子(公益社団法人 日本聴導犬推進協会 副理事長)

(特定非営利活動法人日本補助犬情報センター副理事長)

開催日時:平成 29 年 10 月 28 日(土)・29 日(日)

開催場所:アオーレ長岡 市民ホールA

第11回 メインテーマ:「世界を翔る補助犬使用者 -2020 オリパラに向けて-」

大会長:菊地 尚久(リハビリテーション科医師・医学博士・千葉県千葉リハビリテーションセンター 副センター長)

開催日時:平成 30 年 10 月 6 日(土)～7 日(日)

開催場所:成田国際空港第2ターミナル4階 有料待合室(成田空港)

第12回 メインテーマ:「旅と補助犬 ～泊まる・食べる・集う 快適な過ごし方を支える背景とは～」

大会長:山本 護 (株式会社京王プラザホテル 代表取締役社長)

開催日時:令和 元年 10 月 5 日(土)～6 日(日)

開催場所:京王プラザホテル 4階 錦

## 過去の学術大会写真記録

### 第7回学術大会 (2014年) 実施報告 (ご参考)

#### ●市民公開講座 9月20日



スペシャルトーク:安藤美姫さん・大日方邦子さん 補助犬デモスペシャルトーク:狩野亨さん



●学術大会 講演 9 月 21 日

＜基調講演＞

スーザン・ダンカン看護師  
(元ナショナルサービスドッグ 所長)



＜航空関係者向け車椅子セミナー＞



＜シンポジウム＞

「すべてのお客様に快適なおもてなしを ～私達の取り組み～」

黒沢 直子氏

日本航空プライオリティ・ゲストセンター

「補助犬受け入れの取り組みと今後について」

野口 浩一氏

株式会社オリエンタルランド CS 推進部

「テーマパークにおける補助犬受け入れと今後について」

荒尾 和史氏

中部国際空港株式会社 取締役執行役員 空港運用本部長

「中部国際空港のユニバーサルデザイン」



第8回学術大会（2015 年）実施報告(ご参考)

●10 月 27 日 航空関係者向け補助犬受け入れセミナー羽田空港 ANA ホール



●10月31日 補助犬デモンストレーション

羽田空港国内線第1旅客ターミナルビル 2階「マーケットプレイス」



羽田空港国際線旅客ターミナルビル 4階「江戸舞台」スペシャルゲスト 安藤美姫さん



●10月31日 補助犬使用者向け 羽田空港体験ツアー



●11月1日 学術大会講演

<シンポジウム>

演 者: 田中穂積氏 (日本旅行協会 バリアフリー旅行部会 部会長)

「障害者差別解消法と旅行業界の対応」

垣内俊哉氏 (株式会社ミライロ代表取締役社長)

(一般社団法人日本ユニバーサルマナー協会代表理事)

「旅行業界におけるユニバーサルマナー」

大槻正伸氏 (ANA おからだの不自由な方の相談デスク 主席部員)

「おからだの不自由なかたへの空の旅へのお手伝い」



指定発言: 介助犬使用者 佐藤美樹&介助犬・いろは



## 第 11 回学術大会（2018 年）実施報告（ご参考）

<プレイベント> 補助犬使用者向け成田国際空港体験ツアー

2018年10月6日(土)12:00~14:00 成田国際空港 第1 および第2 ターミナルビル



<市民向け公開講座>

2018年10月6日(土)15:00~17:00 第2ターミナル 3F スカイリウム(ステージ)





<学術集会>

2018年10月7日(日) 第2ターミナル 4F 有料待合室 A-2・3



第12回学術大会(2020年)実施報告(ご参考)

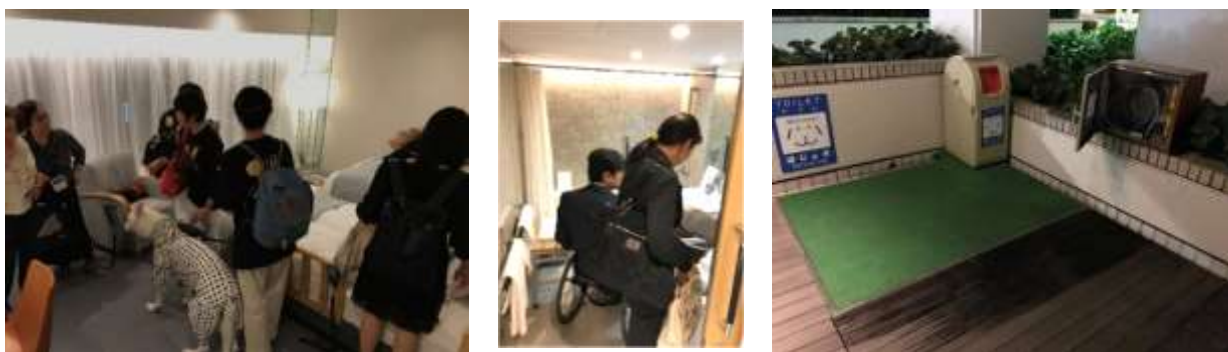
<市民向け公開講座>

2019年10月5日(土) 15:00~17:30 京王プラザホテル 4階 錦



<ユニバーサルルーム・補助犬トイレ見学会>

2019年10月5日(土) 17:30~18:30 京王プラザホテル



本館30階(ユニバーサルルーム)・南館3階ロビー外側(補助犬トイレ)

<学術集会>

令和元年10月6日(日) 京王プラザホテル 4階 錦

